

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果 (保育所等)

1 評価機関

名 称	特定非営利活動法人 人材パワーアップセンター
所 在 地	千葉県松戸市稔台7-12-6 コートルビナス102
評価実施期間	令和7年5月7日～令和7年12月26日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	柏市立旭町保育園 カシワシリツアサヒチヨウホイクエン		
所 在 地	〒277-0852 千葉県柏市旭町5-3-25		
交 通 手 段	JR柏駅から徒歩20分		
電 話	04-7143-8240	F A X	04-7147-6704
ホーメページ	https://www.city.kashiwa.lg.jp		
経 営 法 人	柏市役所		
開設年月日	昭和55年4月		
併設しているサービス	あかちゃんほっとステーション設置, AED設置施設		

(2) サービス内容

(3) 職員(スタッフ)体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考 巡回職員・委託職員含まず
	13	27	40	
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	27	1	1(巡回)	
	保健師	調理師	その他専門職員	
		6(委託)		
	子育て支援員	事務補助員	業務員	
	11	1	1	
	保育補助員			

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	柏市役所保育運営課入園担当へ郵送で申し込み	
申請窓口開設時間	月曜日から金曜日 午前8時30分から午後5時15分まで (祝祭日、年末年始を除く)	
申請時注意事項	柏市役所保育運営課入園担当までお問い合わせください	
サービス決定までの時間	入園申し込みスケジュールの結果回答予定日参照	
入所相談	柏市役所保育運営課、または各保育園にお問い合わせください 園見学も隨時受け付けています	
利用代金	0歳児から2歳児：保護者が居住する市町村が定める利用料 3歳児から5歳児：無償化	
食事代金	3歳児から5歳児 6,000円/月 (主食費：600円、副食費：5,400円)	
苦情対応	窓口設置	有
	第三者委員の設置	有

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

サービス方針 (理念・基本方針)	<p>【柏市立保育園の保育目標】 生きる力を持つ子ども 【保育目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく食べ心も体も元気な子 ・思いやりのある子 ・意欲的に取り組む子 <p>【保育方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体を十分に動かして遊び、食べる楽しさを味わいながら健康な体を育てる。 ・多くの人の触れ合いを大切にし、交流を深めていく中で思いやりの心を育てる。 ・子ども達の思いに寄り添い心の安定を図りながら、新しい事や苦手な事にも挑戦する気持ちを育てる。 ・一人一人の育ちを大切にする中で、様々な環境に触れる機会を作り、自分で考え、自分で行動する力を育てる。 ・保護者との連絡を密にし合いながら、子どもの成長を喜び合う。
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・旭町保育園は、大きなターミナルの柏駅から徒歩圏内の閑静な住宅街の中にあります。旭町近隣センター・旭東小学校に隣接しており、地域の方との関わりの機会が多くある場所です。 ・季節の草花が彩る自然豊かな園庭や、明るい日差しの差し込む保育室ではお子さん達が日々、元気いっぱい遊びを楽しんでいます。 ・お子さんの成長に合わせたさまざまな活動に取り組む中で、主体性を尊重し、丁寧な関わりを心がけています。お子さんの「わくわく・ドキドキ」を大切に、笑顔で健やかな日々を過ごせるよう、保育に取り組んでいます。
利用（希望）者 へのPR	<p>「わくわく・ドキドキ 楽しいこと見つけた！ 笑顔いっぱい 旭町保育園」</p> <p>お子さんの笑顔のために、そして保護者の方に安心していただけるよう職員みんなで力を合わせて、日々の保育を行っています。</p> <p>＜保育の中で大切にしていること＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お子さんが安心して活動できる環境を用意し、健やかに日々を過ごせるよう努めています。また、お子さんが自分の思いを安心して表すことができるよう、関わっています。 ・楽しい・面白い・不思議・ちょっと難しい…でもやってみよう、いろいろな思い・豊かな経験ができる機会を大切にしています。 ・お子さん達の成長に欠かせない遊びからの学び、生活や遊びの中で気づきが生まれるよう関わり、共感を大切に学びのベースとなる力を育んでいます。 ・日々の活動や異年齢交流等で、友だちや保育者と心を通わせる経験を通して、相手や自分を大切にすることを伝えています。 ・季節の行事や自然、命（動植物）との関わり、原体験を大切にし、豊かな感性を育みたいと関わっています。

福祉サービス第三者評価総合コメント

<p style="text-align: center;">特に力を入れて取り組んでいること</p> <p>1. 保育の質の向上のため、外部研修の内容や新しい手法を積極的に取り入れています。</p> <p>研修で学んだ内容を保育室の環境改善や保護者への情報提供に取り入れています。1歳児のクラスではこどもが心地よく感じられるよう、天井下にゆったりとした大きな布地を貼ったり、紐に小さな布をぶら下げ、こどもが取って遊べるように工夫し、こどもにとって過ごしやすい環境を整えました。保護者に対しては、こどもの園生活の情景が伝わるよう、写真を多用したドキュメンテーションを掲示し、保護者の安心につながる工夫をしています。また、若い職員や中堅職員から提案のあった課題分析方法を「保育ウェブ」として取り入れて保育の質の向上に活用しています。新しい手法を積極的に取り入れることで、保育の質、保護者との信頼関係、職員の意欲の向上につなげています。</p> <p>2. こどもの活動に応じた環境整備の視点を柔軟に持ちながら保育を進めています。</p> <p>こどもを主体とした保育を大切にし、安心できる環境の中で年齢や興味に応じた遊びが十分に楽しめるよう、玩具の工夫やスペースの確保、エリア分けなど環境整備に力を入れています。こどもたちは自分の意思で遊びを選び、「忍者あそび」などの遊びを通してルールやマナー、人との関わり方を自然に身につけ、異年齢児との関わりから優しさや意欲が育まれています。職員はこどもの活動を可視化する視点で日々観察し、興味に合わせた環境を提供することで、こどもの成長の変化を感じながら保育にやりがいを持って取り組んでいます。職員同士が会議以外でも保育について活発に話し合う姿が見られ、モチベーションの高さが園全体の雰囲気にもつながっています。また、こどものよりよい育ちのために保護者との連携を重視し、日々の様子や保育の意図を丁寧に伝えることに力を入れています。保護者アンケートからも、職員の対応や説明に対する高い満足度がうかがえます。</p>
<p style="text-align: center;">さらに取り組みが望まれるところ</p> <p>1. 個別の研修計画を作成するなど、職員が計画的に自己研鑽できる体制つくりに期待します。</p> <p>柏市保育運営課や東葛支会主催の研修など様々な研修が用意され、園長・副園長、研修担当(リーダー層職員)が年次や職員の希望を取り入れて各研修への参加者を割り振り、職員に学ぶ機会を提供しています。各職員が年初に自分が当年度に学ぶべき内容を理解し、事前に研修に参加する意義を理解して研修に参加することが、職員の成長に繋がります。職員別または階層別に年間の研修計画を作成し、人事面談等で職員の成長への期待を示すなど、職員の自己研鑽する意欲の向上につながる体制を作ることに期待します。</p> <p>2. より安心して相談できる環境づくりに期待します。</p> <p>保護者アンケートで、ほとんどの項目において、職員の丁寧な対応や説明に非常に高い満足度が示されていましたが、「苦情の窓口」に関する認知のみ、十分でない傾向が見られました。マニュアル整備や窓口の設置、掲示も行われていましたが、入園時の重要事項説明書での案内は保護者にとって情報量が多く、理解が不十分だった可能性があります。今後は、保育所生活に慣れ保護者に余裕が出てきた時期に、改めて苦情窓口等の周知を行うなど、タイミングや方法を工夫することで、より安心して相談できる環境を作ることに期待します。</p>
<p>(評価を受けて、受審事業者の取組み)</p> <p>第三者評価を受け、保護者の方の声や評価を真摯に受け止め、今後もこども主体の保育に取り組んでいきたいと思います。</p> <p>相談窓口の認知については、入園時の説明だけでなく、クラス懇談会(4月・1月)や個別懇談会(春・秋)でも周知するようにし、保護者の方に広く窓口について認知してもらい、より安心して相談ができる園作りに努めています。また、研修については、職員一人ひとりが参加の意義や学ぶべき内容の理解が進むよう、柏市保育運営課と相談していきたいと思います。</p> <p>これからも、お子さんの笑顔のために、そして保護者の方、地域の方に安心していただける園を目指して、職員みんなで力を合わせて取り組んでいきます。</p>

福祉サービス第三者評価項目（保育所等）の評価結果						
大項目	中項目	小項目	項目		標準項目	
			□実施数	□未実施数	□	□
I 福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4	0	
			2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3	0	
	2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	7	0	
	3 管理者の責任とリーダーシップ	管理者のリーダーシップ	4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4	0	
	4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	3	0	
			6 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	7	0	
			7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	5	0	
		職員の質の向上への体制整備	8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4	0	
			9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て材育成に取り組んでいる。	5	0	
II 適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示	10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3	0	
			11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	4	0	
		利用者満足度の向上	12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4	0	
		利用者意見の表明	13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4	0	
	2 教育及び保育の質の確保	教育及び保育の質の向上への取り組み	14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	3	0	
		提供する保育の標準化	15 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	4	0	
	3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始	16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2	0	
			17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4	0	
	4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価	18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4	0	
			19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5	0	
	5 食育の推進	項目別実施サービスの質	20 こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	6	0	
			21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0	
			22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0	
			23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	0	
			24 身近な自然や地域社会と関わるような取組みがなされている。	4	0	
			25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	6	0	
			26 特別な配慮を必要とする子どもの教育及び保育が適切に行われている。	6	0	
			27 保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	4	0	
			28 家庭との連携が十分図られている。	3	0	
			29 地域社会との連携が十分図られている。	3	0	
			30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応に努めている。	3	0	
		子どもの健康支援	31 子どもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3	0	
			32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	4	0	
		食育の推進	33 食育の推進に努めている。	5	0	
	6 安全管理	環境と衛生	34 環境及び衛生管理は適切に行われている。	3	0	
		事故対策	35 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4	0	
		災害対策	36 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6	0	
	7 地域	地域子育て支援	37 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	5	0	
計					159	0

項目別評価コメント

(利用者はこども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

評価項目		標準項目
1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
(評価コメント) 柏市の基本理念・方針については、柏市立保育園重要事項説明書に明記し、全体的な計画にも記載しています。園の目標・方針については旭町保育園、保育園ガイドに記載するとともに、柏市公式ホームページにも保育目標を記載しています。柏市の目標、園の目標、保育方針、各年齢の年間目標を事務室内と保育室内に掲示し、職員が確認できるようにしています。今年度の園のスローガンは「わくわく・ドキドキ 楽しいこと見つけた！笑顔いっぱい 旭町保育園」で、これを基に、各年齢の年間目標・スローガンを立て、目指す保育の方向性を具体的に示し、保育を行っています。指導計画の立案時に確認をしたり、会議や研修の中で保育実践の共有をしています。		
2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
(評価コメント) 柏市の保育目標・基本理念・方針については柏市立保育園重要事項説明書に明記しています。園の目標・方針については旭町保育園保育園ガイドに記載し、重要事項説明書とともに入園時に保護者に説明をしています。毎年4月の保育懇談会にて園目標、年間の基本方針と保育を実践する中で大切にしたいことを保護者にわかりやすく伝えています。実践状況は、連絡帳、園での活動を記載したホワイトボード、園での様子の写真を活用したドキュメンテーション、園だよりやクラスだよりで日常的に伝えています。また、年度末の保育懇談会ではパワーポイントで作成した資料を使って保育実践を保護者に伝えています。		
3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。 また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/>	中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	運営の透明性の確保に取り組んでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。
	(評価コメント) 柏市第六次総合計画、第三期柏市子ども子育て支援事業計画および柏市公立保育園基本理念にて、中・長期的な事業計画や重要課題、子育て支援等を示しています。園では全体的な計画を基に指導計画の立案や行事計画、保育実践、保護者・子育て支援、地域との連携、危機管理等に取り組んでいます。年間指導計画作成の際は、各年齢クラスで検討した案を持ち寄り、全体で協議したうえで、確定しています。公立保育園基本理念において自己評価を年2回行い、事業の現状把握や評価、改善を行っています。園の自己評価は週案会議や職員会議の際に職員に周知し、職員の意見を自己評価に反映しています。柏市保育運営課実施の園長会議、副園長会議の場で社会情勢や保育を取り巻く環境変化等を勘案して重要課題を検討し、その内容を職員に共有しています。	
4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
(評価コメント) 安心・安全な保育の提供が円滑にできるよう、園長・副園長・保育リーダーで子どもや職員の様子、保育の気づきを情報共有しています。多くの職員の意見を園運営に活かすために、階層別会議やクラス会議を定期的に開催し、週案会議も実施しています。職員会議(園内保育研修も同時開催)は月1回開催しています。職員を2班に分け、交代でクラス代表として参加することで、若手職員もクラスで事前に話し合った結果を持ち寄り、意見や思いを発言できるよう工夫をしています。フリー保育士や延長保育担当の職員に対しては、リーダー層職員が意見を聞く場を設けたり、情報提供の機会をつくるなどしています。また、保育の質や保育技術の向上を目的として、柏市保育運営課・人事課・東葛支会等が主催する研修に参加する機会があります。		

5	全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input checked="" type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的に実施し、周知を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。

(評価コメント)

職員が遵守すべき倫理については、柏市職員倫理規程と会計年度任用職員保育マニュアルで明文化されており、全職員に周知・徹底を図っています。個人情報保護については、個人情報保護方針の確認や連絡帳や写真等の個人情報の取り扱いについて、会議等で確認をしています。また倫理については、人権擁護のセルフチェックリストと全国保育士会倫理綱領を各自に配布しています。各職員がセルフチェックを実施し、気づいた点を話し合うことで、倫理や人権意識について再確認しています。

6	事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 職員が相談をしやすいような組織内の工夫をしている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。

(評価コメント)

職員の休暇や勤怠管理についてはシステムで管理し、常に把握をしています。休暇取得は互いに必要な時に休みが取得しやすい職場環境を目指し、毎日ガントチャートでシフトを明示することで、園全体で支え合い保育ができるようにしています。また、今年度からクラス担任のルーティーン業務をシートに記載することで可視化したり、フリーの保育士がサポートに入ることで、効率よく事務が行えるようになりました。職員が互いにサポートしながらICT化を進めたり、会議のテーマを事前に案内し、意見を整理して会議に参加するなど、業務の効率化に努めています。また、シルバー人材センターからの派遣職員が保育補助でクラスに入り、食事の片づけや消毒などの環境整備の補助に入ることで職員のノンコータクタイムが増え、話し合いの時間がとりやすくなりました。

7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 評価が公平に出来るように工夫をしている。

(評価コメント)

人事方針は、柏市人事課・保育運営課が方針や職務権限規程、「柏市保育士に求められる能力」「階層別役割」を策定し、役割や権限を明確化しています。人材確保については人事課や各園の状況を考慮した上で、保育運営課が実施しています。人事評価は人事評価マニュアルに基づき運営しています。正規職員に対しては、副園長が年に2~3回面談を行い、課題設定、課題の達成状況の確認や助言を行い、年度末には評価者(評価補助者、面談者、所属長等)から効果的なフィードバックを受ける仕組みになっています。評価基準や評価方法については、事評価マニュアルや人事評価シートに評点が明示されています。課題設定の際は職員が自分の力、求められる役割を理解し、いつまでに何を達成するかなど具体的に課題設定するよう指導しています。評価の際にはスマールステップで取り組んだことも適切に評価しています。

8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。
		<input checked="" type="checkbox"/> 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。

(評価コメント)

福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置や必要な福祉人材・人員体制の整備については、柏市の人事課や保育運営課が計画的に実施しています。園では全時間帯に有資格者の配置をしています。採用活動については、保育運営課と保育園協議会で合同就職説明会を年2回開催しています。園でもポスター掲示をしたり実習生やインターンシップの学生を多数受け入れ、保育職の魅力を伝え、採用につながるようアプローチしています。会計年度任用職員として勤務した職員が、経験者枠で正規職員として採用された事例もあります。

9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/> 中長期の人材育成計画がある。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 職種別、役割別に能力基準を明示している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別育成計画・目標を明確にしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> OJTの仕組みを明確にしている。	
(評価コメント)			
中長期の人材育成計画については柏市人事課が策定し、職務や役割別的能力基準が示されています。柏市保育運営課では「求められる職種別能力」「柏市保育士に求められる能力」を策定し、研修を通して、人材の育成や能力開発が図られています。保育の専門分野の研修については、柏市保育運営課や東葛支会主催の研修があり、幅広い内容の研修を実施しています。職員の希望や経験、期待する役割などを勘案し、適切な研修が受講できるよう配慮し、スキルアップにつながるようにしています。参加した職員が職員会議等の場で研修内容を報告したり、報告書を回覧することで、研修内容を他の職員にも共有しています。新規採用職員には保育リーダー層のOJT担当職員を1名配置し、トレーニングシートに沿って計画的に業務の習得等の指導を行うとともに、職員全員で見守り、育成する環境を整えています。			
10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常の援助では、個人の意思を尊重している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。	
(評価コメント)			
子どもの尊重や基本的人権への配慮については、年2回実施している自己評価チェックリストや人権擁護のセルフチェックリストを活用し、各職員が保育を振り返り、確認しています。また、自己評価での職員の気づきや日頃の保育の中で職員の関わりで気がかりなことを、職員会議や週案会議に持ち寄り話し合うとともに、研修でも取り上げて園全体で気づきや対応方法を共有しています。柏市の副園長会で作成した「エール柏市保育応援BOOK」を活用し、関わり方や対応の基本について学ぶ機会も作っています。			
11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の利用目的を明示している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。	
(評価コメント)			
個人情報保護については、入園時に個人情報保護に関する同意書・個人情報保護方針を保護者に配布し、内容を説明し保護者の方にも一読していただいた上で、同意を得ています。ドキュメンテーション等に子どもの写真を掲載することの可否についても、保護者の了承を得ています。実習生受け入れの際には柏市の窓口が個人情報保護に同意を取り付けるとともに、園でも実習生、ボランティア、インターンシップの受け入れの際にも会計年度任用職員保育マニュアル、実習生受け入れマニュアル、柏市保育インターナーシップ・ボランティア受け入れマニュアルを用いてオリエンテーション時に説明し、周知徹底をしています。			
12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。	
(評価コメント)			
利用者満足度の改善については、日頃の送迎時の会話やコミュニケーション、連絡帳のやりとり等で信頼関係を深め、日々の積み重ねにより要望等を言いやすい雰囲気づくりや体制を整えています。また、個別懇談会時に要望等について聞き取りをしています。要望に対応できない場合やクラス担任では対応が難しい場合は、園長または副園長から理由を丁寧に説明し、保護者の理解を得るように努めています。保育参観・運動会・お楽しみ会後にはアンケートを実施して、保護者の思いや行事に対する意見を把握し、園での行事の自己評価と合わせて、次回運営での改善を検討し、その内容は園だよりも保護者とも共有しています。なお、昨年の保育参観への保護者の意見を反映し、時期を見直した結果、保護者からも高評価を得ています。			
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。	
(評価コメント)			
相談・苦情等の対応については、柏市立保育園重要事項説明書・旭町保育園保育園ガイドに相談・要望・苦情窓口および担当者を記載し、入園時に保護者へ説明をしています。また、事務室前に苦情相談窓口と担当者を掲示しています。対応については、柏市で策定したクレーム対応マニュアルを基に行っています。相談や苦情・意見は事務室だけでなく担任が受けれる場合も多くありますが、すぐに園長・副園長と共有し、速やかに対応しています。相談・苦情は所定のフォームに対応、改善事項、今後の対応を等を記載し、職員間で共有して改善・解決に活かしています。			

14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価や第三者評価の結果を公表している。

(評価コメント)

園全体の自己評価は、柏市公立保育園基本理念に基づき、年2回実施しています。各職員の自己評価は園独自の自己評価チェックシートを使い、年2回実施しています。評価内容については保育リーダーを中心に課題を抽出し、職員にフィードバックして改善を図っています。保育日誌・指導計画・発達経過記録等に日々の自己評価を記入する欄を設け、担任間で共有しています。毎月の職員会議の中で、各クラスの保育内容を伝え合う時間をもち、全クラスの当月の保育内容と自己評価の共有をしています。年明けには、保育内容やこども達の成長をパワーポイントにまとめ、保育懇談会の際に園の保育への取組の1年の自己評価として保護者の方へお伝えしています。また、今年度は第三者評価を受審し、結果を公表予定です。

15	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 業務の基本や手順が明確になっている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/> マニュアル見直しを定期的に実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/> マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。

(評価コメント)

業務の基本や手順・対応については、市の保育運営課で作成したマニュアルが整備されており、事務室や各クラスに配置し、いつでも手にとり確認できるようにしています。日頃の確認だけでなく危機管理訓練等にもマニュアルの内容を反映し、定着と実践力の強化を図っています。保育内容については、副園長を中心に作成したエル柏市保育応援BOOKを新人や職員の指導育成に活用しています。市の各マニュアルは社会情勢や保育を取り巻く状況を踏まえ、園長・副園長・職員の意見も反映して定期的に見直しを行っています。また、職員からの提案で、保育を円滑に行うために、園独自に土曜日の保育(異年齢混合保育)、外遊びのルール、シフト勤務時の園内業務等のマニュアルを作成しています。マニュアルの内容は、こどもの姿や状況に応じて見直し、定期的に改訂しています。

16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/> 問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。

(評価コメント)

利用に関する問い合わせや見学については随時受け付けています。見学時間は保育の様子が見られる10時台を勧め、30分程度見学と説明を行っています。また、毎年11月に次年度入園を希望する保護者向けに平日2回土曜日1回の計3回、各1時間程度の入園見学会を開催しています。日程や連絡先は柏市公式ホームページやはぐはぐ柏に掲載しています。見学時には保育園ガイドを配布して、園長・副園長が園舎内外を案内し、併せて園の概要や保育内容について説明をしています。わからないことや不安についても聞き取り、安心して保育園入園ができるよう対応しています。また、入園希望者だけでなく、子育て中の方に保育園を知つてもらう機会として、毎年柏市母子保健課で行っている「旭町地域母と子のつどい」の「保育園見学」を受け入れ、園の概要等を伝えてています。

17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。

(評価コメント)

入園説明会時に柏市立保育園重要事項説明書や園生活のしおりに加え、動画やパワーポイント、書面で説明をしています。持ち物等については、写真や実物を用意し、保護者にわかりやすく伝えるようにしています。重要事項については、項目ごとに確認をとり、同意を得た上で入園申込書兼同意書に署名を取り付けています。重要事項に変更があった時には、再度保護者の同意を確認しています。保育目標・方針・保育内容については、毎年年度当初の4月の保育懇談会で保護者に説明し、意向を確認しています。新入園の面接では、保護者の意向やこどもの状況について、園長と看護師で1時間程度をかけて個別に聞き取り、記録して担任に引き継いでいます。入園後も保育懇談会や個別懇談会で意向を確認しています。また、保護者参加の行事後はアンケートを実施し、保護者の声を次年度の実施の際に活かすよう努めています。

18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。

(評価コメント)

今年度、柏市立保育園の全体的な計画を改訂し、発達過程については年齢ごとの区分で詳細を記載し、他項目についても追加して公立保育園として取り組むことを明示しました。改訂の際は、各園長が参画し、保育所保育指針や公立保育園基本理念を基本として、各園の目標や方針・実態を把握した上で、公立園統一のものを作成しています。各園では全体的な計画に基づき、こどもが自分で考え行動すること、地域を含めた多くの人と触れ合う中で、思いやりの心を育むことができるよう、園独自の目標・方針、年間指導計画や月間指導計画・週案・個別計画を立てています。毎年こども達の実情や背景、発達過程に合っているか、各年齢間で育ちの連続性が考慮されているかを職員で検討し、次年度の指導計画作成に活かしています。

	<input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画が作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。 <input checked="" type="checkbox"/> ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
--	--

(評価コメント)

全体的な計画に基づき、年間指導計画、月間指導計画、週案(2~5歳児)、個別計画(0~2歳児)を作成しています。配慮の必要な子どもについては、発達支援個別計画表(3期)を作成します。食育計画は今年度から柏市公立保育園同一のものとなったことから、その内容を園の実態に沿って、年間指導計画や月間指導計画の食育に反映しています。計画作成は主に毎月実施するクラス会議で子どもの姿や保育内容を担任間で話し合い、共有した上で行っています。計画の進捗はPDCAサイクルに沿って期中で振り返り、必要な見直しを行っています。また、週案会議では各年齢の子どもの姿・次週の保育のねらいと内容、職員会議では月の子どもの姿・成長の様子について共有し、園職員が一体となり、こどもに関わっています。

	<input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 好きな遊びができる場所が用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自由に遊べる時間が確保されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育者は、こどもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。
--	--

(評価コメント)

こども一人ひとりの発達や状態に応じた保育内容と方法に配慮し、主体的な活動が展開できるよう環境を整えています。こどもが自分で遊びを選び、自由に素材や用具を使えるよう工夫し、前年度の研修で得た助言をもとに布を使った狭い空間の演出や廃材によるついたて設置などにより、乳児が安心して過ごせる環境や幼児が集中して遊べる空間構成の工夫をしています。広い園庭では毎日屋外遊びを取り入れ、自然とのふれあいや友だちとの関わりを深めています。保育者は子どもの小さな変化や関心を丁寧に捉え、保育日誌に活動を可視化する視点で記録しています。玩具の入れ替えも一律ではなく、子どもの興味に応じて柔軟に対応し、より深い遊びの展開を支えています。こうした環境づくりや日々の関わりを通して、こどもたちの意欲や自信が育まれ、職員も成長を感じながら保育に楽しさとやりがいを持って取り組んでいます。

	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、子どもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や啞語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
--	--

(評価コメント)

こどもが安心して過ごせるよう、ゆったりとした時間の流れの中で保育を行っています。一人ひとりの生活リズムや発達に合わせ、興味のある動作や遊びを大切にしながら、保育者が丁寧に関わることで、こどもが自分のペースで生活できるよう配慮しています。午前睡が必要なこどもには柔軟に午睡時間を調整し、保育室内では静と動の空間を分けることで、子どもの気持ちが安定するよう環境を工夫しています。語りかけや歌いかけ、表情や啞語への応答など、保育者は愛情豊かで受容的・応答的な関わりを心がけ、流れ保育にならないよう意識しています。保護者対応では、初めて利用される方も多いため、丁寧な説明を行い、保護者の思いをよく聞いて理解し、協働して子どもの育ちを見守る姿勢を大切にしています。送迎時や連絡帳を通じて密に連携し、子どもの体調や生活リズムを共有しながら、必要に応じて保育内容の調整や保護者への助言を行っています。

		<input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。)
		<input checked="" type="checkbox"/> 周囲の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。

(評価コメント)

1・2歳児の発達特性をふまえ、一人ひとりとの関係性を大切にしながら、生活や遊びの中で丁寧に保育者が関わるようにしています。こどもの意思を尊重し、ゆとりをもって個々の幅に合わせた保育を行うことで、泣くことが減り、安心して過ごせるようになっています。保育室ではパーテーション等を活用して空間を分け、少人数でじっくり遊び込める環境を整えています。こどもの興味・関心に応じて環境構成を工夫し、手作りの玩具や椅子なども取り入れ、生活そのものを遊びとらえた保育を行っています。小集団での活動により、一人ひとりの様子が把握しやすく、必要な声かけがしやすくなることで、過度な先導的関わりも減少しています。異年齢児との自然な交流も大切にしており、テラスでの身支度など日常の中で関わる機会を設けています。少人数での活動を中心にながら、集団活動にも少しずつ取り組み、こども同士のトラブルも成長の一過程ととらえ、危険がない範囲で見守るようにしています。保護者にはその都度丁寧に説明し、こどもの育ちへの理解が深まるよう努めています。

		<input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 他のこどもと多様な関わりがもてるよう援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/> こどもの興味や関心を引き出すことができるよう、こどもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。

(評価コメント)

3～5歳児が主体的に活動できるよう、興味や関心に合わせた環境構成を行い、玩具や素材を自由に使えるよう工夫しています。こどもが自分で遊びを創り出せるよう、廃材や身近な素材を活用し、イメージを形にできる環境を整えています。サークルタイムでは、こどもの声や思いを丁寧に受けとめ、対話を通じて保育内容や行事に反映できるようにしています。意見がまとまる目的とせず、話し合う過程そのものを大切にし、こどもが安心して発言できるよう配慮しています。年齢に応じた発達の違いをふまえ、3歳児では遊びのプロセスを大切にし、4歳児ではイマジネーションを活かした集団活動を楽しめるようにしています。5歳児では個別の成功体験を積み重ねることで自信を育み、集団活動への意欲や集中力が高まっています。小学校入学を見据え、クラスの状態に応じて設定保育の時間を45分に延ばすなどの工夫も行っています。また、異年齢児との自然な関わりを大切にし、5歳児が午睡時の寝かしつけや衣服着脱のお手伝いをする時間を通して、こども同士のつながりが深まるようにしています。

		<input checked="" type="checkbox"/> こどもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 季節や時期、こどもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。

(評価コメント)

季節に応じた自然とのふれあいを大切にし、園庭には草花で遊べるスペースを整えています。こどもたちは草花を使った遊びや、カブトムシ・クロガタの飼育を通して自然に親しむ時間を楽しんでいます。畑やプランターで植物を育てたり、身近な生き物の飼育・観察を行うことで、命の育ちへの関心を育んでいます。季節の行事では地域の親子を招き、交流の機会を設けています。地域との関わりでは、近隣センターの子育てサークルに職員が出向いて手遊びや体操を紹介したり、「母と子のつどい」の園児学を受け入れています。園庭開放は4月・8月を除く平日午前に実施し、地域の親子とのふれあいを大切にしています。近隣の保育園や小学校との交流も多く、散歩を通じた日常的な行き来も行っています。園外保育では自然だけでなく、標識や鉄道、建築物など地域環境にも目を向け、こどもの興味を広げています。5歳児はバス遠足やプラネタリウム見学を通じて公共機関を利用し、社会体験の機会を持っています。

		<input checked="" type="checkbox"/> こども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/> けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、こども達同士で解決するように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/> こどもが役割を果たせるような取組みが行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/> こどもが自発性を發揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 異年齢のこどもの交流が行われている。

(評価コメント)

気持ちのぶつかり合いも成長の機会と捉え、こどもが納得できるまで話し合いを続けるようにしています。「ごめんなさい」で終わらせるのではなく、こども自身が理解し気持ちを整理できるよう丁寧に関わっています。職員間では、言葉かけや声のトーンがこどもの関係性に影響しないよう共通理解を持って対応しています。遊びの中では生活再現コーナーを設けたり、異年齢児との自然な関わりが生まれるよう工夫しています。3～5歳児は当番活動を楽しみにしながら参加し、遊びの中で「忍者遊び」などを通じて規則の意味を丁寧に伝えています。保護者には懇談会を通じて、気持ちのぶつかり合いを経て心が育つ過程を説明し、4月の全体懇談会では園長が保育方針とともに、葛藤を通じた人との関わりの学びについて伝えています。

26	特別な配慮を必要とする子どもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> こども同士の関わりに対して配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
		(評価コメント)

特別な配慮が必要な子どもに対しては、発達支援個別計画表を作成し、柏市こども発達センターの巡回指導や訪問支援を積極的に受け入れ、専門的な助言を得ながらサポート保育士を配置し、個々に合った支援を行っています。日々の変化や気になる様子は個別記録に残し、クラス会議や週案会議で職員間で共有し、支援方法を検討しています。職員は発達支援研修等に参加し、理解と対応力の向上に努めています。保護者とは送迎時に細かな情報共有を行い、必要に応じて面談を実施。就学相談や療育・医療機関との連携も行い、多方面から子どもの育ちを支えています。個人情報の取り扱いや話す場所にも配慮し、保護者が安心して話せる環境を整えています。家庭内の愛着形成に課題がある場合には、職員がローテーションで子どもに密に関わり、安心できる関係性を築いています。外国籍の保護者には英語の話せる職員が関わる等、言語面でも安心できるよう支援しています。

27	保育時間の長い子どもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/> 担当の職員が変わることには、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 担当職員の研修が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/> こどもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 年齢の異なる子どもが一緒に過ごすことに配慮している。

(評価コメント)

日中から延長保育まで切れ目なく、子どもが安心して過ごせるようにシフト勤務の職員が連携して保育を行っています。引き継ぎはノートや口頭で行い、乳児には生活チェック表を活用しています。18時までは各クラスで過ごし、18時以降は異年齢保育となり、3歳以上児は3歳児の部屋、乳児は1歳児の部屋で過ごします。子どもが疲れやすい時間帯のため、パズルなど一人でじっくり遊べる玩具や、延長・土曜日専用の遊具を用意しています。自分のクラスから玩具を持ち込むこともできます。18時過ぎにはおやつと水分補給を行い、子どもが落ち着いて過ごせるよう配慮しています。職員はSIDSや危機管理などの研修を受講し、安全に対応できる体制を整えています。子どもの気持ちに寄り添いながら、必要に応じて1対1や少人数で関わるようにしています。

28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、子どもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。

(評価コメント)

日々の子どもの様子を連絡帳や送迎時のやりとりでお伝えしています。活動の様子は各保育室前のホワイトボードで共有し、必要に応じてドキュメンテーションも掲示しています。懇談会(全体・個別)、保育参観、行事参加については、年間行事予定表で年度当初にお知らせし、実施しています。懇談会の内容は記録し、参観や行事についてはアンケートを通じて保護者の声を受けています。保護者からの相談には随時応じる体制をとり、園長・副園長が内容を把握し、必要に応じて記録しています。外国にルーツをもつ家庭には文化的背景に配慮し、翻訳ツールなどを活用して丁寧に連携を図っています。アンケートの声を反映した例として、乳児の春の参観では、育休復帰時期や体調面への配慮から時期を後ろにずらしたこと、子どもが安定した姿を見てももらえる参観となり、保護者からも好評を得ました。

29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などが保育所等から小学校へ送付している。

(評価コメント)

小・中・高校の体験活動やインターンシップを受け入れ、地域とのつながりを大切にしています。高齢者との交流を今年度中の再開を目指して調整中です。

5歳児は近隣小学校と年2回、夏に小学校体験会と12月にドッジボール交流会を行い、就学へのつながりを育んでいます。職員は柏市幼保こども連絡協議会に参加し、園と学校が連携して安心して就学できるよう情報共有をしています。

保育要録は保護者の同意を得て、小学校へ対面または送付で引き継ぎを行っています。協議会では交流内容の計画や情報交換を行い、園ではそれをふまえて保育内容を工夫しています。

30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 虐待被害にあった子どもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。

(評価コメント)

毎日の登園時に視診と健康観察を行い、異常や気づきがあれば速やかに園長・副園長・看護師へ報告する体制をとっています。子どもの様子や態度も含めて、不適切な養育や虐待の兆しがないか注意深く見守っています。

現在は通報の実績がありませんが、異常があった場合は、子どもの人権に配慮しながら記録し、虐待が疑われる場合には、柏市こども相談センターが発行する虐待対応マニュアルに基づき、関係機関と連携して必要な対応を取れる体制を整えています。

31	子どもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じて子どもの健康状態を観察し、記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。

(評価コメント)

公立保育園共通の年間保健計画に基づき、毎月の身体測定や年2回の内科健診、歯科検診、視力検査(幼児)、尿検査(4・5歳児)を実施しています。各自の健康表に結果や健康状態を記録し、保護者には健康カードで結果をお知らせしています。SIDS対策としては、毎年全職員に研修を行い、午睡時にはチェック表を使って呼吸確認を実施しています。保護者には、入園面接時にリーフレットを用いて説明し、子どもの家庭での寝方や睡眠の習慣などを聞き取るほか、入園説明会でも説明を行っています。11月のSIDS啓発月間には、ポスター掲示や園だよりで啓発しています。

32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、その子どもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医や子どものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。

(評価コメント)

子どもの体調不良時に主症状や全身状態を確認し、保護者へ連絡しています。けがや事故の際は応急処置後、必要に応じて看護師や保育士が保護者と一緒に同行して受診しています。感染症が発生した場合は、事務室前や各クラス前に掲示して注意喚起を行い、手洗い・換気・消毒を徹底しています。感染拡大時は柏市の関係機関に連絡し、指示に従って対応しています。感染症対応はマニュアルに基づき、嘔吐・下痢処理のシミュレーションを実施し、必要物品は各部屋に常備しています。マニュアルは保育運営課が更新し、職員会議などで周知・差し替えを行っています。看護師は毎日園内を巡回し、石鹼や消毒液の補充、子どもの様子の確認、医薬品の管理を行っています。感染症の流行時は、ほけんだよりや掲示板で保護者へ情報提供をしています。今年度は公立保育園業務継続計画(BCP)を策定し、職員へ周知しています。

33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> 食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、子どもと調理員との関わりなどに配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人一人の子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のある子どもの誤飲防止など細かい注意が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。

(評価コメント)

柏市共通の食育計画に基づき、指導計画に反映した取り組みを行っています。食事は無理強いせず、楽しく食べられる雰囲気を大切にし、子どもの嗜好に合わせて食への関心がもてるよう働きかけています。野菜の栽培や5歳児のクッキング活動を通して、食への興味や感謝の気持ちを育んでいます。調理員が配膳時に保育室前まで配膳し、子どもと自然に関わる機会をもち、残食の様子から体調の変化にも気づくこともあります。アレルギー対応は医師の指示に基づき、除去食を提供しています。誤食防止のため、専用の食器・ネームプレートを使用し、調理員・担任・事務室で口頭確認を行っています。1,2歳児のテーブルには、いろいろな動物の絵が貼付しており、アレルギー児は全クラスでおさるさんの絵の「もんちゃんテーブル」を使用して、アレルギー児には自覚を促し、周囲の子どもにも理解を深めるよう伝えています。0~2歳児は月齢差に配慮し、発達に応じた対応を行っています。食事はなるべく温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供できるよう配慮しています。

34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/> こども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 室内外の整理、整頓がされ、こどもが快適に過ごせる環境が整っている。

(評価コメント)

各保育室に温・湿度計を設置し、主活動や午睡時の環境を看護師が測定・記録しています。手洗いは感染予防の基本として、職員・こどもと共に適切なタイミングで実施しています。水道は1日3回消毒し、ハンドソープを設置しています。室内外の清掃・消毒は、保育者・業務員・派遣職員が連携して行い、衛生的な環境を整えています。0・1歳児は保育者が補助しながら手洗いを習慣化し、2歳児は正しい洗い方を知らせながら見守り・補助を行っています。トイレトレーニングに合わせて排せつ後の手洗いも定着させています。3～5歳児は、遊びや食事、排せつ後に自ら手洗いを行い、保育者が立ち合って声かけや確認をしています。看護師による手洗い指導も定期的に行い、正しい方法と必要性を伝えています。

35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。

(評価コメント)

事務室と各保育室に緊急時対応マニュアルを配置し、いつでも確認・対応できる体制を整えています。事故が起きた際は事故報告書を作成し、原因分析と再発防止に努めています。ヒヤリハットは公立保育園共通の書式で記録し、週案会議で各クラスのファイルを持ち寄って共有しています。月末には記録をもとに傾向を集計・分析し、休憩室のボードに掲示し休憩時間などにも職員同士で周知徹底や改善案等の話をしています。安全点検は毎週当番制で実施し、点検簿と口頭報告を事務室に提出しています。衛生推進者も確認し、必要に応じて修繕対応を行っています。不審者対応は危機管理担当を中心に訓練を行い、職員間で対応方法を確認しています。週案会議で共有された再発防止策は、会議録を通じて全職員に周知し、実践につなげています。

36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 定期的に避難訓練を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。

(評価コメント)

毎月、時間帯や場所・状況を変えた避難訓練を実施し、実際の災害を想定した判断や役割分担を通して、こどもと職員の安全確保を目指しています。消防署立ち合いのもと、消火・通報・心肺蘇生法の訓練も行っています。8月には保護者参加の引き渡し訓練と防災ワークを実施し、余震を想定した避難行動や、防災展示・体験コーナーを通して意識啓発を図っています。緊急連絡カードやメール配信、災害用伝言サービスの周知も行い、職員・保護者間の連絡には「すぐすぐメール」を使用する予定で、周知を進めています。不審者対応訓練は年2回、屋内外の場面を想定して実施し、実践的な内容を取り入れています。訓練後はクラス代表が簡単な振り返りを行い、記録をもとに危機管理担当が意見を集め、職員会議等で共有・改善を図っています。緊急時対応マニュアルは事務室と保育室に配置し、いつでも確認できるようにしています。今年度は公立保育園業務継続計画(BCP)を策定し、職員に周知しました。

37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の子育てニーズを把握している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/> こどもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。

(評価コメント)

平日10時～11時30分に園庭開放を行い、ポスター掲示やチラシ配布で地域に周知しています。地域の親子と園児・職員が関われる機会を大切にし、来園者には職員が積極的に声をかけ、子育て相談などが気軽にできるよう配慮しています。

育児講座や行事招待も実施しており、今年度は行事後にプレイルームを開放し、室内遊びの時間を設けています。その際も職員が声かけを行い、相談を受ける体制を整えています。

令和5年度からは、旭町近隣センターで実施されている「母と子のつどい」の保育園見学を受け入れ、園内案内や保育の様子を紹介しながら、子育て支援情報も提供しています。地域の子育てサークルからの依頼に応じて、保育士が手遊びや体操と一緒に取り組みも行っています。